

過ぎると二俣となる。ここに七ヶ峯への道があった。

右俣に入る。所々ナメが出てくるが、水の流れはもうチョロチョロである。水が濡れた所で沢から上がり、雑林地の中を10分程のヤブコギで尾根に出る。

(記・.....)

【タイム】 大沢出合(11:45)→林道終点(12:20)→二俣(13:05)→尾根(13:25)

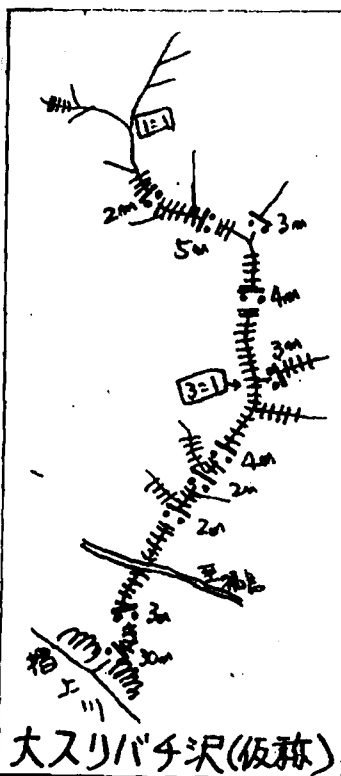
大スリバチ沢(仮称)

1983年7月10日

L

座頭沢の源頭から尾根を越えてスリバチ沢(仮称)に降りる。しばらくは細い平凡な沢が続く。たいして期待もせず下ってゆくと、次第に沢幅が広がり、ナメが始まった。

私はナメの連続する明るい沢は大好きである。美しいナメを快適な足取りで下っ



てゆくと、初めに2m、しばらくして5mのナメ滝がある。この滝の中央を下りながら記念写真を1枚撮ってもらおう。この先も小さなナメ滝がところどころにあり、小さいながら深い釜をもっている。

12:35左から2mの滝をもったナメ沢が注ぐ。この沢は支沢も含めて全体がナメ沢となっているようだ。ミズナを探りながらナメと小さなトロの連続をリズムカルに下る。

13:05国道399号線の暗渠をくぐりぬけて、その下を見にゆく。3mの滝を下って5分も進むと、アッと驚くド迫力で沢はすっぱり切れ落ちている。落差はゆうに30mはあるだろう。深い淵上川の川床を眺めて、また国道に戻る。

連続する美しいナメが、最後に突然大滝となってふりそそぐ楽しい沢だった。(記・.....)

【タイム】 下降開始(11:45)→国道(13:05)